

～イチオシ「健康しがシリーズ」～

「里山保育で子どもの心を元気に！」 東近江市の取組

里山保育とは、河辺いきものの森のスタッフが、保育園や幼稚園等に出向き、園の近くの里山等に四季を通じて 8～10 回、園児を連れて行き、さまざまな体験を積み重ねていくものです。平成 27 年度から始め、1 年に 1 園ずつ増やして実施してきており、4 年目の今年度は4 つの園で、約 150 名の園児を対象に、計 44 回の実施を予定しています（資料参照）。

里山保育は、園で通常行われる「お散歩」と同じような場所で実施しますが、その内容は大きく異なります。専門的な知識を持つスタッフが、現地の下見を踏まえオリジナルのプログラムを毎回作成して実施することで、子どもたちの発見の眼を育て、友だちとの関わりを育み、自己肯定感を育むなど、単に自然に親しむということ以上の意義があります。

近年、全国的に「森のようちえん」などが注目されています。森の中で、日々さまざまな体験を積み重ねる「森のようちえん」の取組は、非常に素晴らしいものです。里山保育は、「森のようちえん」ほどの活動密度はありませんが、「森のようちえん」とは異なる次のメリットがあります。

- ①河辺いきものの森の職員が出向くので園に指導者が不要。活動場所も、園の近くに森があれば森で、田んぼしかなければあぜ道でも実施できるので、どの園でも気軽にできる。
- ②「森のようちえん」などは、我が子を自然の中で育てたいなどの考えを持つ保護者が、その園に入園させる。つまり、保護者の考え方によって、子どもの自然体験の機会が左右される。里山保育は一般の園で実施するので、保護者の自然に対する関心が低い場合であっても、子どもに自然体験をさせることができる。

何よりも、子どもたちが里山保育の日を楽しみにしてくれていて、元気いっぱい、生き生きと活動する様子は、担任の先生も驚くほどです。里山保育を通じて、子どもたちの心と体も元気になっている様子が感じられます。

実施するスタッフが限られているので、どんどん拡大していくというわけにはいきませんが、ノウハウを持つ者さえいれば、どこでも実施していける可能性があります。

■問合せ 東近江市 市民環境部 森と水政策課
八日市いきものふれあいの里(河辺いきものの森)
TEL:0748-20-5211(月曜休館)
担当:丸橋裕一